

(様式2)

公の施設の指定管理者制度導入施設の管理運営状況調書【対象年度:令和4年度】

所管部・課	農林商工部 農林整備課
指定管理者	株式会社おもてなしせんぼく

1 施設名等

施設名	花葉館・角館森林総合利用施設	施設の所在地	仙北市角館町西長野古米沢30-19
-----	----------------	--------	-------------------

2 施設の概要

設置年月	平成8年4月	根拠条例等	仙北市花葉館条例・仙北市森林総合利用施設条例
設置目的	仙北市の歴史、文化、伝統及び特産物を通して都市との交流を推進し、山村地域の活性化を図るため		
施設内容	仙北市交流促進センター・仙北市地域特産物提供体験施設・仙北市交流滞在施設・仙北市曲家 仙北市角館森林総合利用施設		
利用料金	仙北市花葉館条例に基づく		

3 指定期間・選定方法

指定期間	令和 4年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月31日 ( 5年間)
選定方法	公募 (応募者数: ) ・ 非公募 (随意指定)

4 収支の状況(決算ベース)

※財源内訳 (①指定管理料のみ ②指定管理料+利用料金収入-③利用料金収入のみ) (税抜) (単位:千円)

項目/年度		令和3年度	令和4年度	項目/年度		令和3年度	令和4年度
収入	指定管理料	14,400	15,354	支出	維持管理費	136,112	153,433
	利用料金収入	80,888	134,005		事業費		
	その他	44,015	18,905		その他	53,787	48,962
収入合計 ①		139,303	168,264	支出合計 ②		189,899	202,395
				収支差引(①-②)		-50,596	-34,131

※臨時的経費除く。

5 指定管理者の業務内容

施設の運営に関する業務、施設及び設備の維持並びに修繕に関する業務、利用料金に関する業務、施設を通じた保険休養と林業経営の合理化に関する業務ほか

6 利用実績等

(1)利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】 (単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	8,406	9,689	7,870	7,189	8,145	7,632	10,327	7,640	3,162	3,701	7,056	7,374	88,191
令和3年度(B)	7,651	8,353	7,893	7,590	7,558	6,476	9,688	9,105	8,259	7,818	6,836	3,392	90,619
(A) / (B)	109.9%	116.0%	99.7%	94.7%	107.8%	117.9%	106.6%	83.9%	38.3%	47.3%	103.2%	217.4%	97.3%

(2)利用料金収入 (税抜) (単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和4年度(A)	11,744	8,781	14,332	9,648	11,234	11,380	18,580	16,691	7,649	3,506	12,048	8,412	134,005
令和3年度(B)	7,290	6,680	5,620	6,306	7,912	5,152	11,112	13,578	830	5,901	9,209	1,298	80,888
(A) / (B)	161.1%	131.5%	255.0%	153.0%	142.0%	220.9%	167.2%	122.9%	921.6%	59.4%	130.8%	648.1%	165.7%

※1~3、5:所管課記入・4、6:指定管理者記入

7 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価記入) ※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	
		評価	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理運営の実施を進めている。	B	協定書、仕様書及び事業計画に基づいた管理運営を実施したと認められる。
平等な利用の確保	利用予約は先着順で受け付けるなど、平等な利用を確保した。	B	平等な利用を確保できたと認められる。
利用者サービス向上の取組	利用者アンケートの結果とお客様の声を毎日のミーティングで発表。速やかな対応に努めた。	B	利用者アンケートの実施結果の内容を分析し、速やかに管理運営に反映させている。
自主事業	周辺設備(ゲートボール・グラウンドゴルフ)の利活用の推進。毎月イベントの実施。	B	当初計画した自主事業が実施されており、施設の設置目的に寄与している。
職員・管理体制	常勤職員:31名・非常勤:13名、計44名 仕様書及び事業計画書に基づき職員配置を行った。	B	仕様書及び事業計画に基づく職員配置が行われている。
収支状況	収入168,264千円に対し、支出は202,395千円であり、34,131千円の赤字であった。	C	令和3年に続き、令和4年も新型コロナの影響を受け、利用者の大幅な減少が見受けられた。前年に引き続き赤字決算となっているため、より一層の経営努力が必要である。
今年度の取組(令和4年度)	日常勤務の姿勢・経費の見直し、集客目標の達成、館内の点検・清掃・消毒・の徹底を心がけた。		他の仙北市第三セクターとの連携が、お互いの経営向上に繋がるよう期待したい。
総合評価	新型コロナで減収した売上げを、収束を機に増収を期待していた矢先給油事故があり、年末年始の書き入れ時の休館を余儀なくされ、更に大幅な収入減になってしまった。	B	9月に会社統合を実施したことにより、継続的な黒字化に向けた今後の経営改善に期待したい。概ね協定書に基づいた管理運営を実施できたと認められる。

〈指定管理者評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果であった。
- B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果であった。
- C: 仕様書等の内容を下回る項目があった。
- D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項があった。

〈所管課評価区分〉

- A: 仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われた。
- B: おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われた。
- C: 仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
- D: 仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

8 制度の効果及び施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
制度の効果	姉妹都市交流で、特産物販売を通して、都市交流の地域の活性化の推進は進んでいると考えられる。	これまでの指定管理のノウハウを活かし、独自の大手旅行代理店などのネットワーク等で集客に努力したことは評価でき、都市交流、地域の活性化に寄与している。
施設の管理運営の課題	施設・備品の経年劣化に伴う修繕が多く、予算計画がかなり必要と考える。	大規模修繕については計画的に行う予定である。

※7～8: 指定管理者及び所管課記入